

経営比較分析表（令和元年度決算）

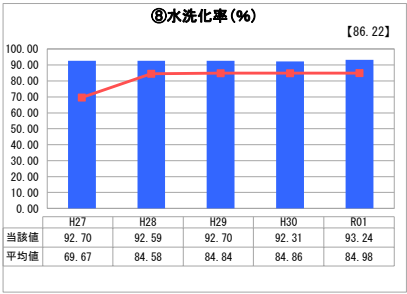
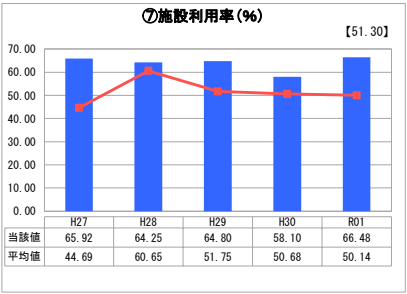
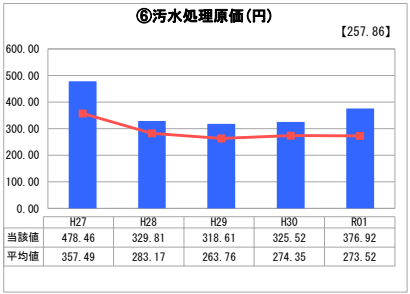
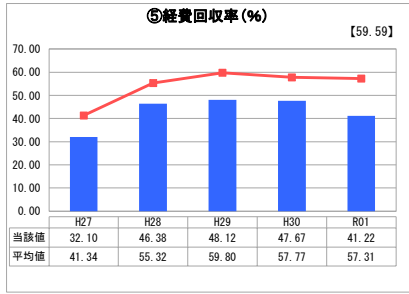
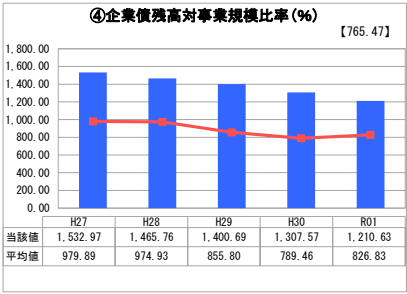
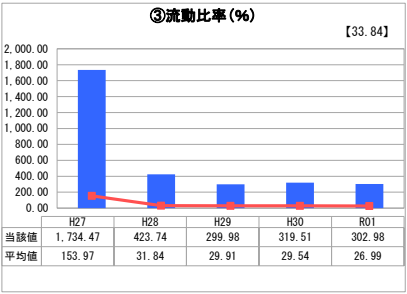
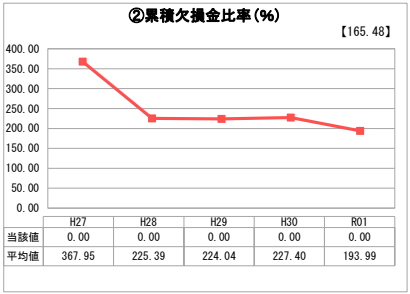
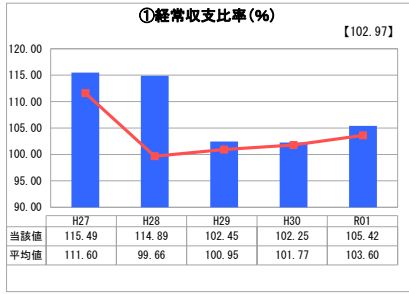
埼玉県 日高市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	84.91	1.01	80.81	2,761

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
55,696	47.48	1,173.04
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
562	0.24	2,341.67

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①一般会計からの繰入金により収支不足を補填しているため、黒字となっています。

②累積欠損金は発生していませんが、一般会計からの繰入金で、収支不足を補填しています。

③100%を超えており、安定していると言えますが、一般会計からの繰入金に依存している状況です。

④処理区域内の人口密度が低い地域に施設設備を行ったため、高い数値となっています。施設整備は既に完了しているため、今後の新規投資はないことから、数値は減少していく予定です。しかし、今後老朽化していく施設の更新のため、水洗化率の向上に努め、使用料収入の確保を図ります。

⑤水洗化率の向上に努め、使用料収入を確保し、かつ、維持管理費の縮減に努めます。

⑥④と同様の理由で、高い数値となっています。今後も維持管理費の縮減に努めます。

⑦平均値を上回っており、効率的な施設利用を行っています。

⑧平均と比較すると、高い水準にありますが、引き続き未接続家屋の普及推進に努めます。

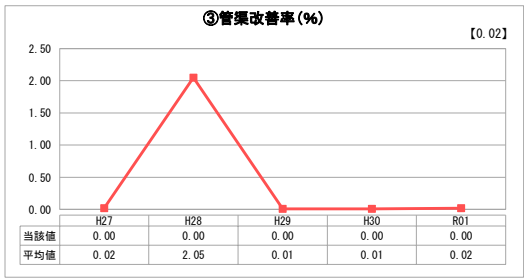
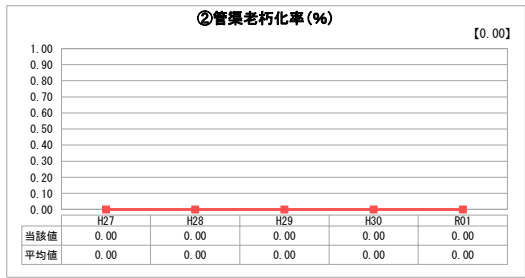
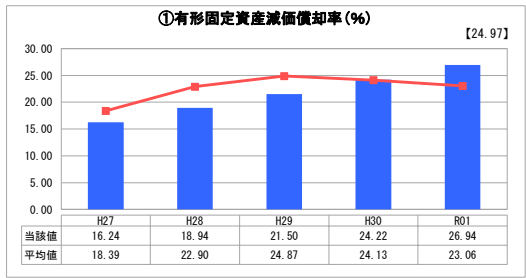
2. 老朽化の状況について

①農業集落排水事業は、平成13年度に供用開始し18年が経過したところで、施設の老朽度は低い状況です。

②法定耐用年数を超えた管渠はありませんが、今後予定されている管渠の更新を見据え、点検等を計画的に行います。

③今後発生する管渠の更新工事については、費用対効果を検証し、効率的に実施して行く予定です。

2. 老朽化の状況



全体総括

令和元年度末における農業集落排水事業の経営状況は、経常収支が黒字であること、累積欠損金がないこと、翌年度の支払資金も確保されていることなどから比較的経営は安定していることが伺えますが、これは一般会計からの繰入金により収支不足の補填を行っているためです。

農業集落排水事業は、処理区域内人口密度が低い地域において施設整備を行っているため、汚水処理原価は割高になっています。これを使用料収入で賄うことは、利用者の負担が過度となる恐れがあるため困難な状況です。処理費用の縮減のため、公共下水道への接続等の検討を行っていきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。